

製品名: RNF2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86474**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:38 kDa

抗原情報

遺伝子名	RNF2
別名	BAP1; DING; BAP-1; HIPI3; RING2; RING1B
遺伝子 ID	6045, 19821, 304850
SwissProt ID	Q99496, Q9CQJ4, Q4KLY4
免疫原	ヒト RNF2 の合成ペプチド

背景

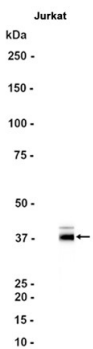
ポリコームグループ (PcG) タンパク質は、発生や細胞増殖に関わる様々な遺伝子の転写抑制に重要な多タンパク質複合体を形成しま

す。この遺伝子によってコードされるタンパク質は PcG タンパク質の一つです。このタンパク質は転写因子 CP2 (TFCP2/CP2) と相互作用し、その活性を抑制することが示されています。マウスにおける類似体の研究では、この遺伝子が前後軸の決定や初期発生における細胞増殖に関与していることが示唆されています。また、このタンパク質はユビキチン結合酵素であるハンチンチン相互作用タンパク質 2 (HIP2) と相互作用し、ユビキチンリガーゼ活性を有することも明らかになっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

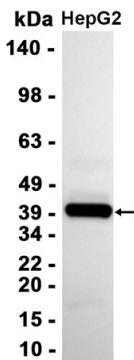
研究分野

-

画像データ



RNF2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。



AMRe86474 を 1:1000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンプロット分析しました。